

令和7年度 学校経営計画書

学 校 名	倉敷市立玉島北中学校
校長氏名	石井 亨治

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

ともに学び（**練磨**）、思いやりの心もち（**敬愛**）、たくましく生きる（**自主**）生徒の育成

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

【**自主**】 夢や目標、理想の自分像に向かって主体的に学習活動に取り組み、努力を継続できる生徒の育成。

【**練磨**】 友達や先生、地域と協働し、高めあうことができる生徒の育成。

【**敬愛**】 自他の違いを認め、尊重することができる生徒の育成。

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

- 落ち着いた学習・生活環境のもと、地域と協働して授業や学校行事の充実を図り、生徒やその保護者、そして教職員が「玉島北中学校に通ってよかった・通わせてよかった・勤めてよかった」と思える学校づくりに努める。
- 重点項目
 - ・教科指導（ペアやグループ学習・ICT活用の積極的活用・考えのアウトプット、そして「**学びをゆだねる**」という観点からの授業改善の推進）
 - ・人権教育（肯定的な自己・**他者理解**、道徳教育・特別支援教育の充実、あいさつの励行）
 - ・生活指導（清掃指導、交通指導、授業規律、**組織的な生徒指導体制の構築**）
 - ・校内研修（授業公開（**参観**）、教科部会、**コンプライアンス**、**夏季研修**、**OJT**、**初任者研修**、**中堅教諭資質向上研修**、**先進校視察**）
 - ・**業務改善**（働き方改革推進リーダー、推進員を中心とした職員の意識改革の推進）
 - ・**地域連携**（コミュニティスクール（学校運営協議会）をスタートさせる。コーディネーターを窓口として、学校教育への地域人材の積極活用する）
- 1 教科指導 **主体的な学びの育成**
 - ・「考える場面、考えをアウトプットする場面」「ペアやグループでの活動」「ICT活用」を積極的に進める。また、「**ゆだねる**」をテーマとした授業研究に努め、**主体的な学び**の具現化を図る。
 - ・1時間の流れを提示し、見通しをもって学習に取り組む授業スタイルの確立を図る。
 - ・家庭学習に授業の予習を取り入れ、課題意識をもって授業に臨む姿勢の育成。
 - ・「**効果的なめあての設定**」、「指導と評価の一体化」の研究を進める。
 - ・授業規律や望ましい学習習慣の定着、効率的な学習方法の探究に努める。
 - ・指導案（本事案）をもとにした**公開授業**を行うとともに、スキルアップを目指して定期的な教科部会を実施する。**※授業改革チームや指導主事等を招いた研修会を実施する。**
 - ・**教科教室の強みを発揮する。**
- 2 人権教育 **温かい心を育てる教育の充実**
 - ・**生活ノートやレポート類への前向きなコメント、GBカードや黑板メッセージ、各種たよりや良いこと探し、日々の授業や学校行事などで互いに評価し、自己肯定感を高めるとともに、認め合える集団づくりに努める。**
 - ・「**そばに立つ**」指導に努め、生徒との信頼関係づくりに努める。
 - ・職員がいじめの定義を周知したうえで、アンケートや教育相談を定期的 to 実施し、**いじめの認知率**を高める。
 - ・**地域人材を活用した人権教育（人権読み物、性教育等）の充実をはかる。**
 - ・**元気のよいあいさつや、清掃活動、交通ルールの遵守**などを重点項目とし、生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる環境づくりに努める。
- 3 特別支援教育の充実
 - ・誰でも分かりやすい学習形態や指導・指示の工夫を図り**インクルーシブ教育**の充実を目指す。
 - ・特別教育支援コーディネーターや生徒支援コーディネーターを中心とする**ケース会議**を通じて、特別な支援を要する生徒への、個に応じた適切な支援の充実を図る。
- 4 生きる力を育む教育の充実
 - ・「**玉北中1UPシート**」を定期的（月ごと）に記入し、夢や目標を振り返り、自分の長所を客観的に自覚できるように努める。
 - ・3年間を見通した進路指導や、**地域と協働したキャリア教育（夢育）**の充実を図る。
 - ・学級・学年での活動や学校行事、委員会活動や部活動等を通して、**自治的な取組**ができる集団づくりや**リーダーの育成**に努める。
 - ・**生徒が主体的に考え、判断し、活動できる教育活動の推進および環境づくりに努める。**
- 5 開かれた学校づくりの推進
 - ・学校の状況や取組について、保護者や地域への**積極的な情報発信**と連携、啓発を図る。
 - ・**地域との連携**を推進し、生徒への適切で効果的な指導と支援体制を構築する。
- 6 教職員の職能成長の促進
 - ・学校内外での研修等への参加や**授業公開**を通して、教職員の指導力や資質・能力の向上に努める。
 - ・教職員が様々なアイデアを提案できる機会を作り、学校経営への参画意識の向上を図る。